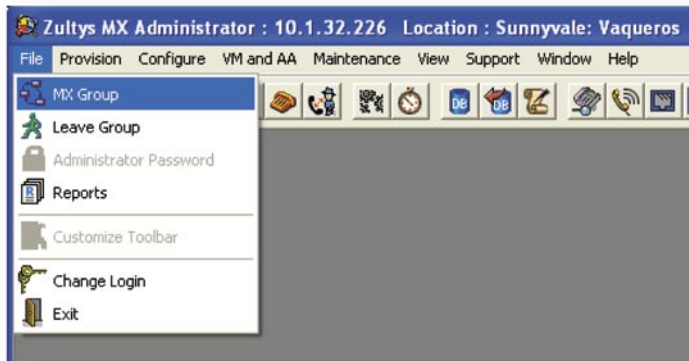


MXgroup

概要

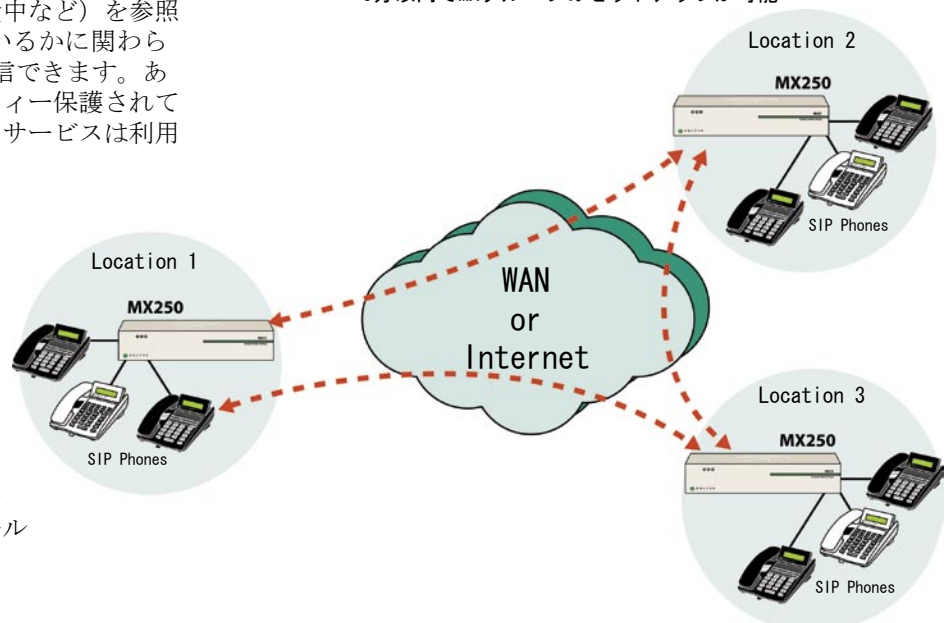
MXグループは、複数のMX250を接続し、シームレスなコミュニケーション・グループを構成する、オプション・ソフトウェアです。複数拠点間で内線番号を使用でき、拠点が離れていても一つの集合体として見ることができます。ユーザーは、自拠点内での通信と同じ方法で、他拠点のユーザーと通信できます。MX250は、WANあるいはインターネット上で容易に構成できます。ユーザーによる設定は、全く必要ありません。



シームレスな接続

MXグループは、フロア間 / 都市間 / 国間に関わらず、1つの企業内に最大8000ユーザーまで、通信できます。複数のMX250は、全体をグループ化することで、統合されたシステムとして見ることができます。それぞれのMX250は、グループに所属する全ユーザーの情報を維持し、これを各ユーザーに提供します。ユーザーは、ロケーションに関わらず、全ユーザーのプレゼンス（在席中、会議中、昼食中など）を参照できます。また、その人がどこにいるかに関わらず、インスタント・メッセージを送信できます。あらゆる通信は、企業内でセキュリティー保護されており、パブリックにアクセスできるサービスは利用していません。

MXグループのユーザーは、自拠点内に限らず、他拠点のユーザーも含めたバディ・リストを作成できます。GUIによるMXIEを使用することで、ユーザーは、マウスをクリックしてコールを発信できます。ユーザーは、全ての拠点間でコールを転送でき、全ての拠点間で電話会議を行うことができます。また、ユーザーは、標準的な端末を使用し、拠点間でビデオコールを行うこともできます。



主な特徴

- 複数拠点間でのシームレスな接続
- システム全体で内線番号によるダイヤリング可能
- プレゼンスとインスタントメッセージ
- ロケーションに関わらず、全ユーザーのアドレス帳にアクセス可能
- ある拠点でシステムがダウンしても、他拠点への影響は回避可能
- 最大32台のMX250でMXグループを構成
- MXグループ内に最大8000ユーザーを収容
- あらゆる拠点でログイン可能
- 拠点間通話にG. 729Aを利用可能
- 各拠点で局線接続が可能
- 通話料削減のために、WAN経由の専公接続が可能
- 拠点間のビデオコール
- 拠点間通話の暗号化によるセキュアな通信
- 単独あるいは複数の管理者を設置可能
- MXグループは、1拠点から管理可能
- 単一の管理ツール
- 5分以内でMXグループのセットアップが可能

他拠点でのログイン

通常、ある拠点に所属するユーザーは、他拠点に出張したとき、そこで、特別な操作なくMX250にログインできます。そのユーザーのプレゼンスは直ちに全てのユーザーで参照可能となり、以前と同じように、インスタント・メッセージを送受信できます。全てのユーザーは、そのユーザーが自拠点にいるかのように、同じ内線番号をダイヤルすれば、そのユーザーにコールが着信します。同様に、ボイスメールの着信通知を受信できますし、MXIE / IP電話機を通じてボイスメールにアクセスできます。

外線からの着信も、どのMX250で着信したかに関わらず、同じ番号でそのユーザーに着信できます。システム管理者は、ユーザーに個別のダイヤルイン番号を割り当てることができ、PSTNから直接着信させることができます。

LCR

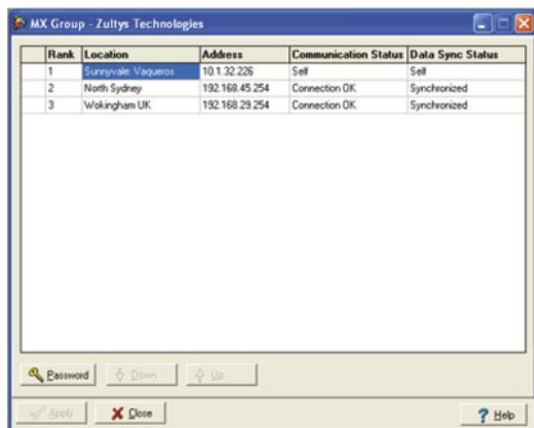
それぞれのMX250は、局線に接続できますので、外線からの発着信は、各拠点に収容された局線を使用できます。

全ての内線通話は企業内ネットワークを利用するため、通話料は発生しません。

システム管理者は、ある外線コールを、WAN経由で他拠点のMX250に接続し、そこから局線に発信させるといった番号計画を設定できます。あらゆる外線コールに、この手法を使用すれば、LCRが実現できます。

リモート・ユーザー

ユーザーは、インターネットやVPNを経由してオフィスに接続でき、外出先でもシステムを使用できます。ユーザーは、MX250の機能にフルアクセスでき、自身の内線番号でコールを受信できます。ユーザーがリモート接続したMX250がMXグループの一部である場合、そのユーザーは、他のユーザーがどこにいるかを意識せず、企業内の全ユーザーにアクセスできます。



セキュリティとデータ圧縮

拠点間のあらゆる通信で、AESを使用することができます。これは、インターネット上でデータを交換する場合、完全にセキュアな通信を提供します。拠点間の通話は、帯域消費を抑制し、かつ通話品質を上げるために圧縮することができます。

導入と管理

MXグループは、非常に容易に導入できます。一旦、個々のMX250をそれぞれ単独のシステムとして設定し、拠点間がIPで接続されていれば、MXグループの一部としてMX250を接続することは、5分以内に完了します。この作業は、システムの様々な設定や管理を行うものと同一の管理者ツールで実施します。

その後、各MX250は、速やかにMXグループへの追加 / 削除を行います。MXグループ内で変更が発生したとき、各MX250は、データベースを同期し、速やかにユーザー情報をアップデートします。

それぞれのMX250は、異なるアクセス権限を保有したローカルの管理者に独自で管理させることもできます。例えば、ローカルの管理者は、ユーザーの追加 / 削除を実行できます。変更はMXグループに所属する全てのMX250に伝搬されます。加えて、継続的かつ適切な管理 / セキュリティ確保のため、メインのシステム管理者を配置することができます。

権限が与えられていれば、どの拠点からでも全てのMX250を管理できます。これにより、各拠点に熟練したスタッフを配置する必要がなくなります。

アーキテクチャーと可用性

MXグループは、ピア・ツー・ピア・ネットワークとして構成されます。これは、どこか1つのMX250 / ネットワークがダウンしても、他拠点の運用に影響がないことを意味します。ローカルのMX250で変更が発生し、MXグループがリストアされた時、その変更は、MXグループ内の全てのメンバーに伝搬されます。

各拠点に局線があるならば、WANがダウンしても、ユーザーは外線での発着信は利用できます。この場合、システム管理者に選ばれたあるユーザーによって、拠点間のコールを、自動的に局線へ迂回させることができます。

たとえ、自拠点のMX250にアクセスできなくても、MX250は、外部からのログインを許可します。これにより、復旧するまで相当の時間を要する場合、他拠点のMX250で業務を運用することができます。

標準に準拠した端末

MX250は、100%オープンな標準規格に基づいており、あらゆるSIPに準拠した端末と連動できます。企業は、あらゆるユーザーにサービスを提供するため、Zultysあるいは他ベンダーのSIPサーバー / 電話機 / ビデオ端末 / アプリケーションを、MX250と組み合わせ使用できます。MXグループを利用すれば、企業内の全ユーザー間で、付加サービスを共有できます。

Zultys Technologies
771 Vaqueros Avenue
Sunnyvale, CA 94085
USA

Tel: +1-408-328-0450
Fax: +1-408-328-0451
Email: zultys@zultys.com
Web: www.zultys.com

